

パイルロック[®]速乾型

鋼矢板は、河川港湾などの締切工において止水壁として広く使用されていますが、鋼矢板だけでは止水性が十分ではありません。「パイルロック速乾型」は、鋼矢板の止水性を著しく向上させる画期的な製品です。本製品を鋼矢板の継手部にあらかじめ塗布しておくことで、塗膜が周辺環境の水分を吸収し膨潤することで継手部の隙間を埋め、高度な止水性を発揮します。

概要

1. パイルロック速乾型は、合成樹脂をベースとし、高吸水性ポリマー、充填材、溶剤などを配合した流動性のある塗料状の鋼矢板用膨潤性止水材です。
2. パイルロック速乾型を打設前日までに継手部に塗布し、一晚以上自然乾燥させると、弾力のある強靱な塗膜を形成します。塗膜は、周辺環境の水分と高吸水性ポリマーの働きにより、打設後24時間で最高約20倍に膨潤し、継手部の隙間を埋めることで0.5MPa(水深50m相当)以上の耐水性を発揮します。

特長

1. 膨潤率が大きく、鋼矢板の止水性を著しく高めます。
2. 打設前日までに塗布すれば、通常の鋼矢板と同様に施工でき、打設や引抜きなどの作業に悪影響を与えません。
3. 乾燥塗膜は弾力があるため、打設の際に剥離しにくく、高い止水効果を発揮します。万が一、部分的に剥離しても膨潤率が大きい為、その周辺の止水材が欠損部をカバーし止水効果を維持することができます。
4. 塗膜からの溶出水は、周辺の水質に悪影響を与えません。
5. 引抜き後の塗膜は、スクレーパーやウォータージェットで容易に除去することができます。

施工方法

1. 鋼矢板を作業しやすいように並べ替えます。
2. 継手部の浮き錆、泥、油、水分などをケレン棒、ウエスなどで取り除きます。
3. パイルロック速乾型を十分攪拌し、オイルジョッキなどで継手部に流し込み、刷毛で継手部に塗布します。
4. 一晚以上乾燥させた後、打設作業を行います。乾燥時に降雨の恐れがある場合には、シートを掛けて水と接触しないよう保護します。
5. 打設翌日には止水性を発揮しますので、排水、掘削などの作業を行う事が出来ます。

使用上の注意

1. 低温時には、乾燥に時間がかかる場合があります。
2. 降雨時や鋼矢板を扱えない荒天の場合は、塗布作業を中止してください。
3. 有機溶剤を含むので換気の良い場所で、火気厳禁で取扱ってください。密閉された場所では使用しないでください。
4. 容器は密栓し、直射日光を避けて40℃以下の場所に、火気や熱源から遠ざけて保管してください。

※詳細につきましては、安全データシート(SDS)をご請求ください。

荷姿

パイルロック速乾型	18kg	石油缶
専用シンナー	16ℓ	石油缶

主な実績

1968年の販売開始以来、数千件の工事実績を誇ります。

2014年 稲永埠頭排水管設置その他工事、箱崎9号線築造工事、相割川護岸工事、首都高熊野町JCT工事、砂押川外河川災害復旧工事、他

2015年 国道17号小栗山道路新橋架替迂回工事、東武鉄道竹ノ塚駅高架化工事、熊本県立野ダム仮排水路工事、佐渡火力発電所土木設備撤去工事、東海北陸自動車道西尾張IC下部1号、福岡10号新山国大橋下部工事、他

2016年 北九州市田畑川雨水幹線管渠築造工事、旧鹿兒島市交通局土壌汚染対策工事、緊急防災河川工事矢崎川、他



写真1 パイルロック速乾型の膨潤状態

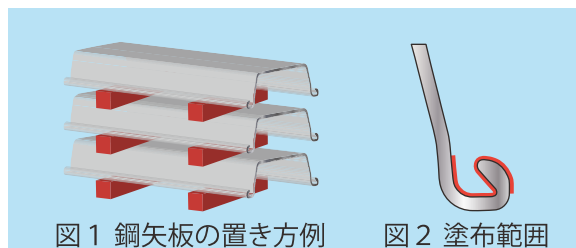


図1 鋼矢板の置き方例

図2 塗布範囲

表 標準塗布量

鋼矢板の形式	標準塗布量 (継手部両側合計/1m)
Ⅱ・Ⅱw型	0.36kg
Ⅲ・Ⅲw・Ⅳ・Ⅳw・ⅤL型	0.40kg
Ⅵ型	0.44kg



写真2 鋼矢板の打設状況



日本化学塗料株式会社

〒252-1111 神奈川県綾瀬市上土棚北4-10-43

Tel: 0467-79-5711 Fax: 0467-79-5477

URL: <http://www.ncpaint.co.jp>

Email: info@ncpaint.co.jp

お問合せ先